特別委員会調査報告書（抜粋）

2つの特別委員会（新エネルギー問題・地震対策）は、所管の調査事項についての報告書をまとめ議長に提出しました。また、その報告書は3月定例会にて議場配布されました。主な内容については次のとおりです。

■新エネルギー問題特別委員会

風力発電施設

深刻化する地球温暖化防止のため、さらには化石燃料の枯渇抑制のためにも、新エネルギー（太陽光発電、風力発電、燃料電池等）の研究・導入は重要である。技術的には実用段階の新エネルギーもあるが、設備投資に費用がかかる等、経済性の面で普及が進んでいない現状にある。施策の推進にあたっては、国・県や関係団体などの経済的な協力は不可欠であるが、産学官の連携・協力を密にし情報の共有を図るとともに、市民へも情報提供や啓発を行い、新エネルギーに対する知識と理解を深めることが必要である。今後も新エネルギー政策に関しては、環境負荷の軽減、安全性の強化、新産業の創設の3つの視点で進めることが重要であり望まれる。

天然ガス自動車

■地震対策特別委員会

総合防災訓練

本市に大きな被害をもたらすと予想されている東海・東南海地震等、大規模災害については、平常時からの備えや訓練の持続性が重要である。その中にあって、防災計画に基づいた訓練等は重要であり、特に、市民の生命の安全に直結する災害医療については、医師の人手不足等、想定外のことも考えられることから、できるかぎり実践的な訓練を実施し、市民が主体的に行動できるよう心がけておく必要があると言える。一方、緊急災害情報の共有化については、市民が自らの安全を確保するために重要であり、リアルタイム緊急情報システムのような新しい技術についても積極的に調査研究し、実用化にむけた取り組みを望むところである。

請願と陳情について

市民のみなさんの市政などに対するご意見やご要望を行政に反映させるため、市議会に請願や陳情を提出することができます。

請願書・陳情書の提出方法　請願（陳情）書には、請願（陳情）の趣旨、提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人や任意の団体は、その所在地、名称及び代表者名）を記して押印し、議長あてに提出してください。
※なお、請願書については、1人以上の紹介議員の署名が必要です。（陳情書の場合は、紹介議員は必要ありません。）

請願（陳情）の書式例

表紙	本文
平成　　年　　月　　日 ○○○○に関する請願書（陳情書） 鈴鹿市議会議長　○○○○様 情願者（陳情者）　住所 氏名　　印 紹　介　議　員　○○○○ （署名又は記名押印） ※陳情書の場合は 紹介議員は必要ありません。	請願（陳情）の趣旨 （用紙A4縦）

請願は、委員会と本会議で審査を行います。
陳情は、全議員にその内容が報告されます。
※詳しいことについては、市議会事務局（Tel 382-7600）へお問い合わせください。